乳がん検診受診率の向上を

女性の「がん検診」

末松　則子議員
自民・無所属・公明議員団（鈴鹿市選出）

問　近年、多くの女性が乳がんでお亡くなりになるなど、乳がんは女性の体にとって驚異となるものです。国でも、乳がん検診では原則として早期発見に効果があるマンモグラフィ（乳房X線検査）を行うよう指針を改正したところです。このように、がん対策では早期発見が非常に大切ですが、三重県の乳がん検診受診率は全国四十六位と極めて低い数字にとどまり、県内市町村のそれにもばらつきがあります。県でもこうした状況を改善するため、乳がん対策推進事業に取り組んでいますが、そのためには、検診体制の整備と合わせて、実施主体である市町村との十分な連携が必要と考えますが、所見をお聞きします。

答　乳がん対策として、検診の受診率を高める普及啓発や検診体制の整備を進めているところですが、平成十七年一月に県健康管理事業センターで二台目のマンモグラフィ検診車が稼働し、県内全ての市町村でマンモグラフィによる乳がん検診が実施されることとなります。また、市町村との連携については、情報提供や担当職員に対する研修会等を行っていますが、さらに、市町村における精密検診該当者の事後指導をより一層進め、検診効果を高めることを目的に、「乳がん検診追跡登録システム」を構築しているところです。

マンモグラフィ検診車

●その他の質問事項
・教育改革　他

企業の取組にインセンティブを

男女共同参画の進め方（男性の視点から）

北川　裕之議員
新政みえ（名張市選出）

問　少子化対策や高齢者福祉などの社会問題は、女性と男性が互いに協力していかなければ解決できないものです。そういう意味では男女共同参画社会の推進が解決の糸口になるのではないでしょうか。しかし、民間企業の部長担当職に占める女性の比率が一・八％だというデータもあります。男性側の意識改革が必要であるとともに、企業における取組が不可欠です。他の自治体では、育児休業や職場復帰等をサポートする企業に助成金を出したり、入札参加の格付け評価に男女共同参画への取組加算を設けているところもあります。このように、県でも、企業での取組を奨励するための施策が必要と考えますが、所見をお聞きします。

答　国では、従業員が育児休業を取得した場合や、育児介護休業者等の円滑な職場復帰に必要な取組を行った場合などに、事業主に対して奨励金や助成金の給付をしています。県でも、これらの制度が有効に活用されるよう周知や啓発に努めています。また、入札要件等へ男女共同参画推進状況を導入することについては、客観的な評価ができる明確な基準づくりが非常に困難であることから、全国的にも進んでいない状況です。県としては、国や他の自治体の動向も見ながら、重要な課題として研究、検討をしていきます。

●その他の質問事項
・「三重県におけるIT利活用の提言」を受けて　他

可決された議提議案（議員提出条例）

●松阪市、一志郡嬉野町、同郡三雲町、飯南郡飯南町及び同郡飯高町の合併に伴う三重県議会議員の選挙区の特例に関する条例
●三重県議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例
●四日市市及び三重郡楠町の合併に伴う三重県議会議員の選挙区の特例に関する条例
●三重県議会委員会条例の一部を改正する条例

採択された請願

●産業廃棄物行政における観光地への配慮について
●「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保について
●WTO・FTA交渉について
●食品安全行政の充実を求める国への意見書提出について
●「食料・農業・農村基本計画」見直しについて

可決された意見書

●「公契約法」の推進など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書
●WTO・FTA交渉に関する意見書
●食品安全行政の充実に関する意見書
●「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書
●郵政民営化に関する意見書
●違法伐採木材等の輸入規制を求める意見書
●北朝鮮による日本人拉致問題を解決するため、経済制裁を視野に入れた対応を求める意見書

可決された決議

●日米地位協定の改正を求める決議